

# 災害ボランティアセンター勉強会

## コロナ禍における 災害ボランティアセンター設置・運営について ～全社協資料より～

---

葉山町社会福祉協議会 千田高広

# 本日のお話の流れ

---

- ①感染症拡大が懸念される状況における、  
災害ボランティアセンター(災害VC)設置・運営の  
**基本的な考え方**
- ②感染症拡大が懸念される状況における、  
災害ボランティアセンター(災害VC)設置・運営の  
**具体例**

# 災害VCの設置・運営について①

---

- ・ボランティア活動は本来、自由・自主的・自発的な活動



尊重されるもの

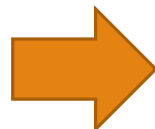
- ・感染拡大が懸念される状況下では、  
一定の制限がかかることもやむを得ない

# 災害VCの設置・運営について②

支援が必要な災害が起きた場合の設置判断

従来

被災者のニーズ



災害VCの設置・運営が可能かを  
行政と協議して判断する必要

感染症予防の専門家等の意見

感染拡大が  
懸念されるとき

スムーズに判断するために、  
事前の話し合いが大事

# ボランティア募集・受け入れについて

---

そもそも災害VCは、

大規模災害が起きたときに、  
町内外から支援に訪れるボランティアと  
被災された人や地域とつなぐことで、  
被災した人の生活（回復）支援を行う

# ボランティア募集や受入範囲①

---

従来

被災者のニーズや参加人数の動向等を踏まえて検討



感染拡大が  
懸念されるとき

ウイルスを

持ち込む

持ち帰る

広める

恐れに配慮

## ボランティア募集や受入範囲②

---

**政府の基本対処方針等**（外出自粛等）のもと、  
**ニーズや災害VCの設置環境**を把握した上で、  
**被災地域の住民等の意見や意向等**も踏まえ  
町や県行政とも協議する

# 感染拡大防止に配慮した運営

---

- ・活動の優先順位と範囲を定める
- ・感染防止に最大限配慮する
  - ・対面を極力避ける
  - ・対面が必要な場合はなるべく短時間で
  - ・健康状態確認、手洗い、消毒の徹底
  - ・3密を避ける
- ・スタッフ、ボランティアの連絡先を確実に把握
- ・ボランティア保険の加入確認

# 設置運営にあたっての具体例

# 災害ボランティアセンターの設置検討

---

1. 災害VCの設置について行政（県・町）と協議し判断
2. 行政・保健所・医療関係機関の支援体制を行政の協力により確保
3. 衛生管理を徹底し、災害VCを運営
4. 地域の組織・関係機関に災害VC運営の協力を呼びかける
5. 地元の地域住民・関係者にV活動の協力を呼びかける
6. 安心して依頼・活動できる情報発信
7. ボランティア活動保険の加入

# 災害VCの運営上の衛生管理の留意点

---

1. 事前準備

2. 活動日の取組

# 運営のための事前準備①

---

## ①感染の危険箇所・危険場面の確認

- ・接触回数が多い箇所
- ・密集、密接、密閉される場所
- ・大声を出したり、息が荒くなる場所

接触感染



飛沫感染



# 運営のための事前準備②

---

## ②災害ボランティア活動の方法を見直す

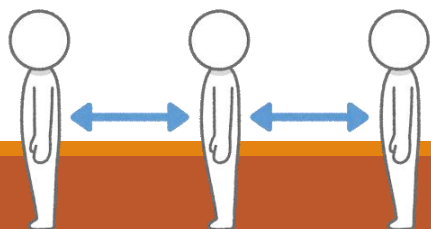
①で確認した内容から、運営方法の検討や備品準備

- ・3密を避ける

受付（待機距離、換気、事前申込制、WEB受付）

- ・感染対策（非接触体温計、手洗い、消毒、マスク、手袋、フェイスシールド、ごみ袋、ペーパータオル等）

間隔を空けて  
お並び下さい



# 運営のための事前準備③



## ③ボランティア参加ルールの設定と周知

- ・発熱や風邪症状がある場合の参加の見合わせ
- ・活動中の感染症対策の徹底（携帯用の消毒液持参）
- ・マスク着用活動による熱中症対策（飲料を多めに持参）
- ・募集予定人数の厳守（予定人数の周知・事前申込制）
- ・接触アプリの活用
- ・ルールの広報・周知・掲示

# 運営のための事前準備④

---

## ④運営スタッフ参加ルールの設定

- ボランティアと同様に風邪症状での活動見合わせ  
(運営スタッフは1～2週間前から健康チェック)
- 感染症対策の徹底

## 運営のための事前準備⑤

---

⑤発熱や風邪症状があるボランティアが参加した場合

- ・直ちに参加を断り、自宅等で静養してもらう

※連絡先の確認が必須

- ・「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」に該当する場合は、保健所等に相談し、指示に従う



お断りします



# 活動日における感染防止の取組

---

①運営スタッフによる感染防止の取組

②ボランティアによる感染防止の取組

# ①運営スタッフによる感染防止の取組

---

(1) ボランティア受付前の準備

(2) 活動中の取組

(3) 閉所後

# (1) ボランティア受付前の準備

---

- 手指消毒液の設置
- 接触が多い箇所の消毒
- マイク等の使用(都度消毒)
- 間隔をとれるような目印や配置
- 非接触型の体温計
- 感染拡大防止のルール掲示
- スタッフには紙面も活用し、時間を短縮

A stylized orange cloud graphic with a black outline, containing the text 'チェックリストの活用' in white.

チェックリスト  
の活用

## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ① ニーズ受付

- ・被災者からの依頼を電話・メール等で受付
- ・現地調査を行う場合は、当日の訪問前に依頼者の体調を確認
- ・訪問の際には、スタッフ・依頼者ともにマスクを着用
- ・室内作業時は換気をする
- ・会話は正面を避けたり、距離をとる
- ・必要に応じて依頼促進のチラシを配布

## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ② ボランティア受付

- 入口で検温
- 受付時間の短縮(事前申込)
- 室内待機場所の換気
- ボランティア保険の事前加入周知



## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ③オリエンテーション

- ・時間短縮のため、活動上の留意事項などをチラシや動画にまとめて見てもらう



## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ④ マッチング

- ・説明時間を短縮

依頼内容の詳細は紙にまとめておく

- ・災害VCでの待機時間短縮

活動エリアのみ定めて、現地でマッチングなど



## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ⑤ グルーピングとリーダー選定

- ・ 定期的な休憩と給水の呼びかけをしてもらう

### ⑥ 資材の貸出

- ・ 資機材の手指が触れる箇所を消毒



## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ⑦送迎

- 車両の中は密接になりがち
- マスクの着用、常時換気の徹底
- 運転席と後部座席の間にビニールシート等の工夫も
- 送迎後は換気と消毒



## (2) 活動中の感染防止の取組

---

### ⑧活動報告

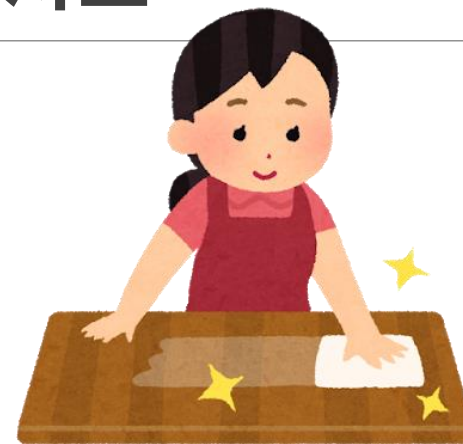
- ・会話は正面に立つことを避ける
- ・報告受付にビニールシートを設置するなどの工夫も



### (3) 閉所後の感染防止の取組

---

- ・閉所後ミーティングは短時間で
- ・会場や備品の消毒
- ・清掃時のマスクや手袋着用
- ・作業後の手洗い、消毒
- ・帰宅後の手洗い、消毒



## ②ボランティアによる感染防止の取組

---

- 活動当日、発熱・風邪症状、体調が悪い場合は参加を取りやめ
- 活動中を含めて、人との間隔を2M以上確保
- 咳エチケットやマスク、手洗い・手指消毒
- 屋内活動時は、常時換気
- 依頼者にもマスクなどのお願い
- 会話をするときは、マスク着用、正面にたたない、距離を保つ
- 熱中症対策

（作業量、休憩、給水、屋外で距離が確保できる場合のマスク外し）

# ポイント

---

- ・感染症について行政や専門家の意見を聞き、話し合う
- ・状況を適切に把握し、判断する
- ・どこが危険箇所かを洗い出す
- ・危険箇所に対して感染症対策を実施する
  - 対面を極力避ける、必要な場合はなるべく短時間で健康状態確認、手洗い、消毒の徹底
  - 3密を避ける など
- ・それでも感染が発生した場合の対応も考えておく

ご清聴ありがとうございました。

# 本日のお話の内容が載っている資料

---

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報

災害ボランティアセンター運営者(社協等)向け資料

<https://www.saigaivc.com/covid19/>

①新型コロナウイルスの状況下における衛生に配慮した

災害ボランティアセンター運営上の留意点【第1版】

②新型コロナウイルス感染が懸念される状況における

災害ボランティアセンターの設置・運営等について～全社協VCの考え方～